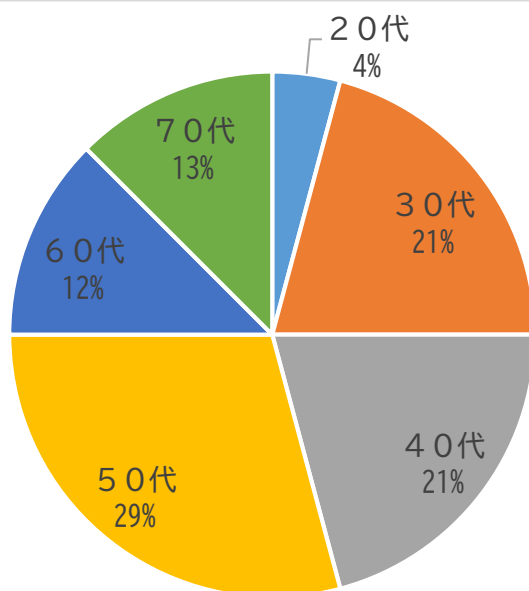


ひきこもり支援講演会（6月21日）

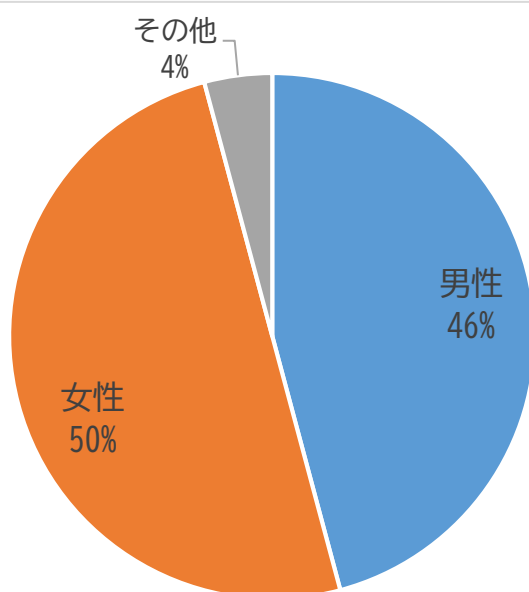
アンケート結果

1 参加者内訳

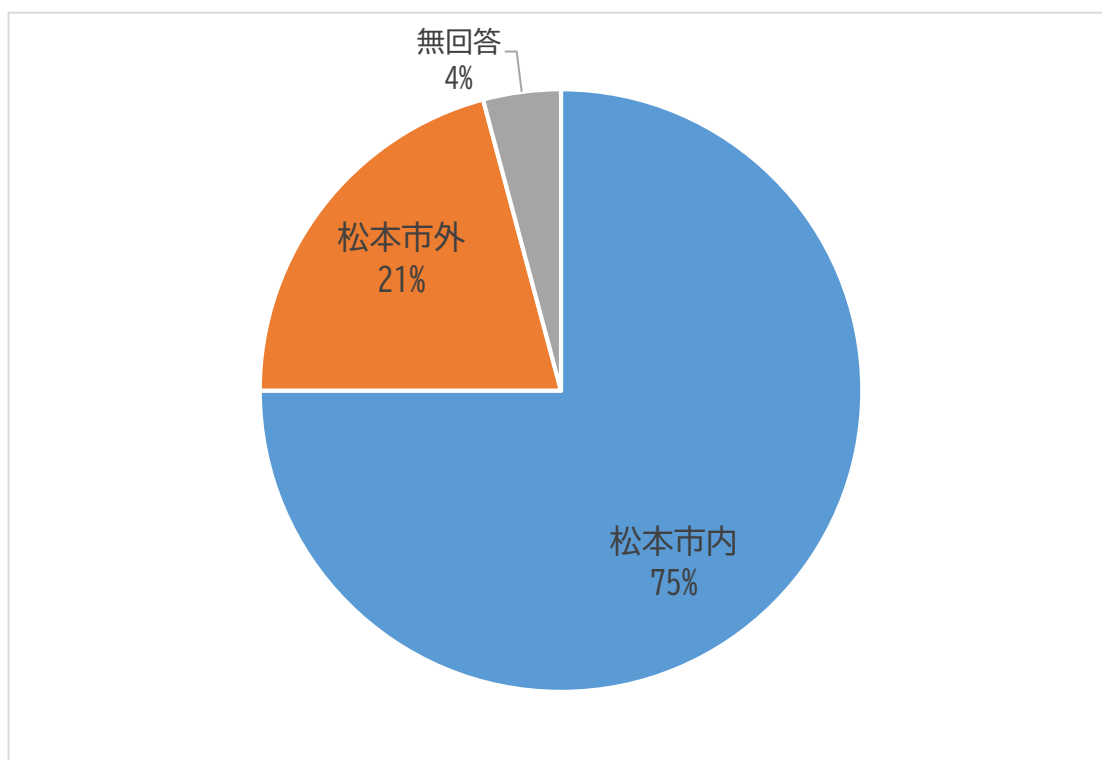
(1) 年代



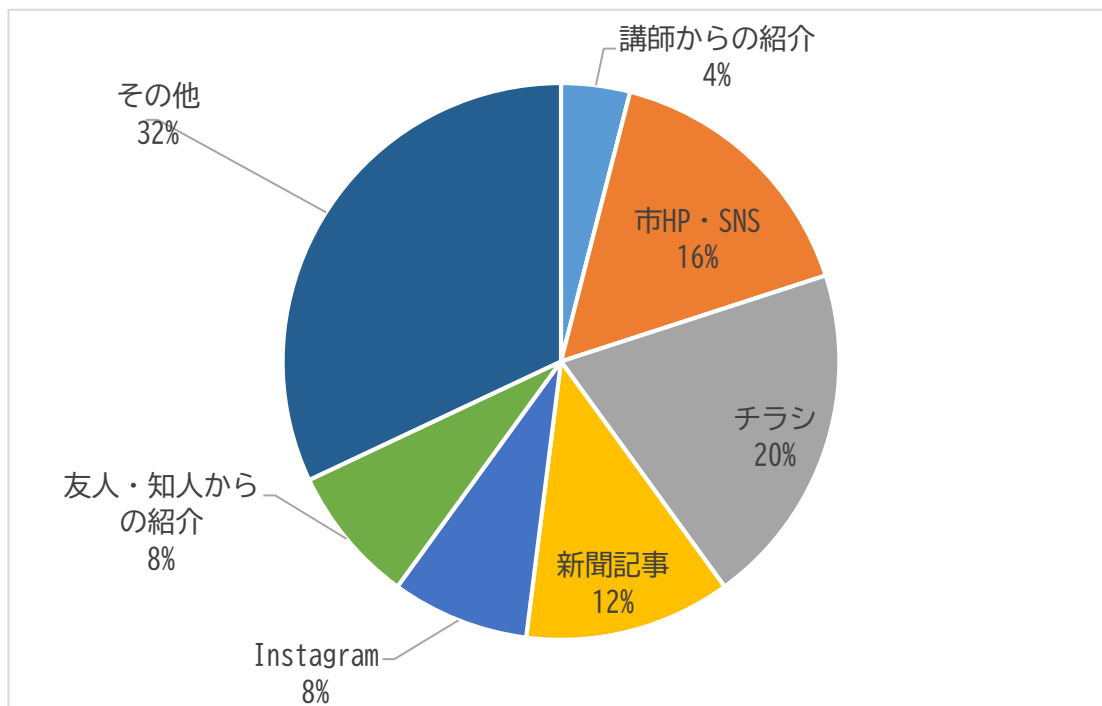
(2) 性別



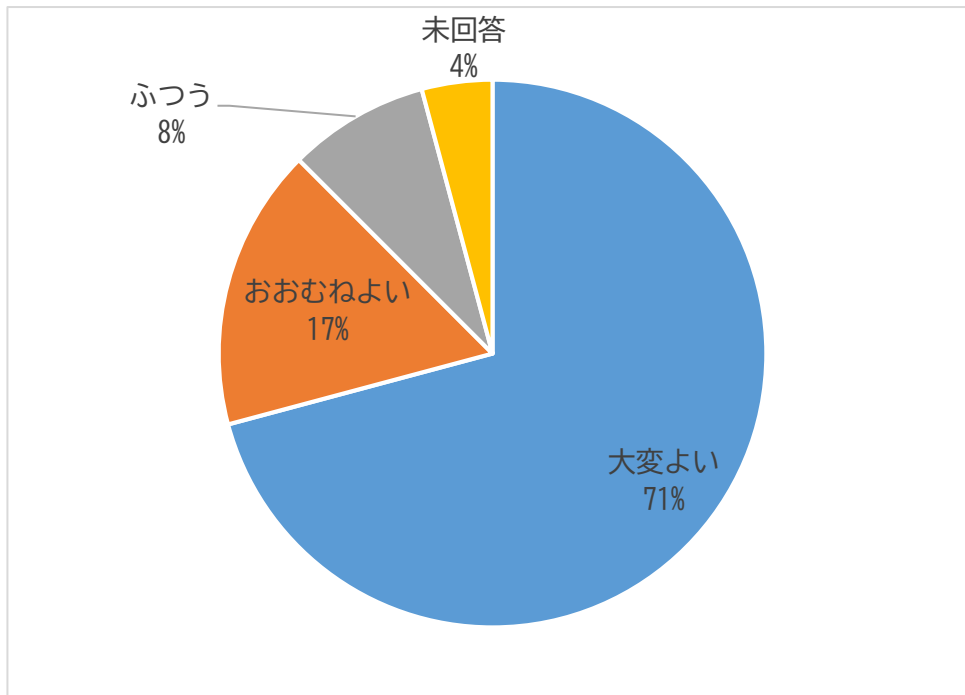
(3) 居住地



2 講座を知った媒体（複数回答可）



3 講演会の感想



(1) 「大変よい」の詳細意見

- ・ ひきこもり、不登校のきっかけとなる、差別や人権について学ぶことができました。自分や身近な人のためにできることをしたいと思います。傷つく言葉、言動を自分や身近な人が言われたらどう思うのか、考えたいです。
- ・ 当事者の生の声を聞いたことは、大変ありがたい。より多くの人達に、聞いてもらえればと思う。
- ・ 詳しいお話を涙しながらも、お気持ちなど色々正直に、素直に、優しくお話してくださって、ありがとうございます！
- ・ LGBTQ他少数者と言われる方々の意見をしっかりと受け止めていきたいと思いました。
- ・ 貴重なお話をありがとうございました。また講演会をやってください。
- ・ 統計的なデータと、ご自身のご体験を織り交ぜられたお話で、大変分かりやすい内容でした。
- ・ 差別のない社会！とても考えさせられました。
- ・ 当事者の生の声が聞けて、良かった。
- ・ 自分自身の中の無意識な偏見について、改めて感じるがありました。
- ・ ご本人の話を聞くことができ、身近な現状を感じることができました。
- ・ 時代が変わっていくことを願っています。職場の仲間に伝えます。
- ・ 業務上、知識や理解があるつもりでしたが、今回のお話をお聞きできて大変勉強になり、理解を深めることができました。

- ・ 最初は、ひきこもりの問題とLGBTQの問題とが別ベクトルに感じられたが、終盤のルーキーさんの自分語りで「仲間をこれ以上失いたくない」「もし自分がマイノリティになったら」という観点を提示されて、2つの問題は共通点が多いことに気付かされた。

(2) 「おおむねよい」の詳細意見

- ・ 当事者の立場になって理解することが大事だと思った。
- ・ 入浴施設でどちらへ入るかの問題は、なかなか難しいと思いました。(どうしても見た目で判断してしまうため。)犯罪者かどうかの見極めも難しい。

(3) 「ふつう」の詳細意見

- ・ 反証例が多く、視点が限定的だった。

4 講師(ルーキーさん)にお伝えしたいこと、感想、意見等

- ・ 職場・学校でトランスジェンダーの方をおみかけしていましたが、心ない言葉をかけられたり、差別発言をさらっと周りとしていたらする場面を見かけていました。仲間の内でそんなことがもし起きたら、ルーキーさんのお話をお伝えしようと思います。
- ・ 軽井沢の「ほっちのロッヂ」(軽井沢町にある診療所)というクリニックの先生がLGBTQの活動をなさっており、佐久で講演をお聴きしました。ルーキーさんにお伝えください。
- ・ 「ひきこもり支援講演会」という名前では、講演の内容が必要な層に届かないと感じた。
- ・ 議論や研究の最中である分野であり、かつ多様性を重んじるのでは不可能だとは思いますが、もう少し一貫性を持たせられないのか、と思う。
- ・ 性自認に暴露がアウティングであり、自認のみで性別が変更できるようになるべきであり、ジェンダー(男らしさ、女らしさ)で性自認は決まらないというのは、どうにも制度設計に耐えられない。
- ・ 私は、精神疾患の当事者会を行っているが、活動を通して全てのことはグラデーションであるという考え方を持っている。精神疾患を持っていることを隠して社会生活を送っている人も多い。
- ・ 本日の講演を聞き、属性や分類ではなく、1人の人間として相手を尊重していればどんなに良いかと思ったが、今の社会はどうだろうか。最近のニュース等を見ていると、危惧を感じる。
- ・ 私は21歳の息子がおり、中学校3年生の15歳の時に半年不登校になり、信濃むつみ高校を3年で卒業し、2年以上ひきこもりで心配しながらこの会に参加させていただき、色々な体験

や経験の話しにくいお話をいただき、ありがとうございます。今後も、よろしくお願いします。

- ・ 私はZUNBAの先生の知り合いで、誘われた飲み会でルーキーさんとお会いしたことがありますが、友人の友人で、ほとんどお話したことがなかったので、またお会いできて、うれしいです。
- ・ あるグループラインにルーキーさんも以前いらっしゃいましたが、退会され「お元気かな？」と気になっていましたが、お元気そうで、お悩みも聞かせていただき、ありがとうございました。これからも無理せず、ご活躍されますことをお祈りいたします！
- ・ 自分にもアンコンシャスバイアスがある事を実感することがあります。本当に無意識過ぎて、驚くことがあります。気づきが大切だと思っています。男性・女性ではなく、個人として認識していきたいです。
- ・ 私は発達障がい当事者で、自助会やカフェを開催しています。人ごとではありません。
- ・ 「このままの自分でいたい。」とても感動しました。
- ・ 「誰でもトイレ」は、私たちの地区でも作れるよう、努力します。
- ・ マイノリティの方は、声を挙げにくいということは、何かにつけ感じることが多いです。
- ・ 人として、命は絶対に大切なものです。私も多くのマイノリティの人の立場を理解し、一人ひとりの人権を大切に、誰もが生きやすい世の中にしていきたいです。
- ・ 社会の様々な置き去りになった所にLGBTQの問題があることを知りました。
- ・ 多様性を尊重し合える社会・地域になるよう、正しい理解を知ることがとても重要だと思いました。ルーキーさんの生の声は、心に響きました。
- ・ 自分の価値観や考えを押し付けている可能性があることも、常に考えなければならないと感じた。
- ・ 自分らしさを自然に表現できて、自然を受け止めることのできる社会であってほしいと思いました。
- ・ ラベリングせず、その人の個性を大切にできるように、自分も心がけたいです。貴重なお話をありがとうございました。
- ・ 自分の子どもにも、自分らしさを大切にすること、相手の大切なことを自然のままに受け止めることを伝えていきたいです。
- ・ ルーキーさんの活動や思いは、多くの方に届いていると思います。応援しています。
- ・ 私たちも業務の中で、少しでも何かを取り入れたり、考えていきたいと思っています。
- ・ 子供がいじめ、SNSで誹謗中傷を受け続け、不登校になってしまいました。

マイノリティ側の現状や思いが分からない人々がいることは確かで、声を上げる活動に共感しました。声を上げるにも力が必要で、同類の仲間が要る。そのようなコミュニティを私も作れないかと考えています。ご講演ありがとうございました。

- ・ 3章の自分語りが、胸を打った。しかしながら、逆に1・2章が無味乾燥に感じられてしまった。説明は、もっと短くて良いと思う。
- ・ 私にもLGBTの友人が多いが「アウティング厳禁」のお話で、どこにどうやって相談すべきか、大変悩む。特に私の親友は、レイプ経験が引き金になっており、大変デリケートな状況にあり、どこまで接すべきか(あるいは接せずに普段通りに振る舞うか)が、思案のしどころである。